

第6章 計画の推進体制

1 地域社会の役割

市内のあらゆる分野における子育て支援にかかわる人が、すべてのこどもの健やかな成長を実現するという社会全体の目的を共有し、こどもの育ちと子育て支援の重要性に対する関心と理解を深め、協働し、それぞれの役割を果たすことが求められます。

(1) 保護者の役割

保護者は、子育てについて最も重要な責任を有しています。家庭は教育の原点であり、出発点であるという認識のもと子育てについて責任を果たしていかなければなりません。また、家庭の中だけでなく保護者同士や地域の人々とのつながりを保ちながら、地域の子育て支援に役割を果たしていくことも重要です。家庭、地域、子育て支援に関連する施設、こどもの生活の場を連携させ、地域コミュニティの中でこどもを育てていきます。

(2) 地域の役割

子育て中の保護者の気持ちを受け止め、寄り添い、支えることを通じて、保護者が子育てに不安や負担を抱えることなく喜びや生きがいを感じることができ、すべてのこどもが大事にされ、のびのびと成長できるよう地域全体で取り組みます。

(3) 企業（事業主）の役割

子育て中の労働者が男女を問わず子育てに向き合えるよう職場全体の長時間労働の是正、労働者本人の希望に応じた育児休業を取得しやすい環境づくり、職場復帰支援等の労働者の職業生活との両立（ワーク・ライフ・バランス）が図られるような雇用環境の整備に取り組みます。

(4) 行政の役割

こども・子育て支援を総合的に実施する主体として、現在の子育て家庭を取り巻く状況や地域、企業等の役割を踏まえ、子育て支援の質・量とも充実させるとともに、学校等の教育関係機関をはじめ関係機関と連携し、子ども・子育て支援事業の提供に取り組みます。

2 計画の進行管理

本計画に基づく事業を着実に推進するため、各取り組みについては、毎年度、庁内の関係部局による点検・評価および牧之原市子ども・子育て会議による評価に基づき事業改善に努め、PDCAサイクルに基づく総合的・横断的な進行管理を行います。

